科目ナンバー	HIS-1-003-sn				科目名		日本現代史					
教員名	大沼 久夫			開講年度	[学期	2020年度 前期			単位数		2	
概要	この授業では、戦後70余年の日本の戦後史、現代史について、国際関係(アジアでの冷戦)を視野に具体的な様々な出来事を通じて学ぶ。特に米国軍(連合軍」占領下での民主的諸改革、日米安保体制、アジア諸國との関係、高度経済成長期の日本などについて学ぶ。ニュース映像などを見ながら当時の様子や生活、社会の変化、諸問題について考える。											
到達目標	敗戦後の日本がどのような国際環境のなかで独立を回復し、国際社会に復帰し、やがて高度経済成長によってどのように変化、発展してきたか、特に占領政策の内容と日本側の対応やその軌跡を学び、現代日本の姿を歴史的に知ることができるようにする。											
「共愛12の力」との対応												
識見		自律する力		1	コミュニケーションカ			問題に対応する力				
共生のための知識	t O	自己を理解する力		0	伝え合う力)	
共生のための態度	ŧ	自己を抑	制する力		協働する	カ	構		構想し、	想し、実行するカ		
グローカル・マイ ンド	0	主体性			関係を構		5力 実			践的スキル		
教授法及び課題の												
フィートハック万 法	フィードバック方 ついてグループ討論など学生同士の意見交換も行う。歴史的な経緯を踏まえて現在の日本の抱える問 法 題(国外、国内)についてもグループ討論なども行う。									.6問		
ァー アクティブラーニン	<u> </u>	<u> </u>		ラーニング				課題解決型学		≐修 ()
受講条件 前提 科目	歴史関連の	歴史関連の授業を履修することが望ましい。特に「日本近代史」やアジア関連科目を受講することを勧						:勧				
アセスメントポリ シー及び評価方法	期末試験、グループ討論参加度とレポート提出(家族の思い出・出来事インタビュー・調べ)、等の総合評											
教材	中村政則著『戦後史』 岩波新書 ISBN:9784004309550 ¥840+税 2005年											
参考図書	日本近代史を受講した学生は『日本史のアーカイブ』とうほう、も持参すること大沼久夫著「『上毛新聞』 に見る敗戦後の群馬県」共愛学園前橋国際大学ブックレット3号 上毛新聞社 2011年吉川洋著『高度成長』 中公文庫 2012年福永文夫著『日本占領史19451952』中公文庫 2014年						_					
内容・スケジュール												
「1週目												
授業学修内容	シラバス授業:	ガイダンス	、評価									
授業外学修内 容	高校までの日本現代史、戦後史の学習を振り返る				時間	数	l					
2週目												
授業学修内容	歴史とは? 時代区分歴史を学ぶ意義とは											
授業外学修内 容	歴史を学ぶことについて考える						時間	数	l			
3週目									•	•		
授業学修内容	敗戦の日本戦	争の性格	歴史の断約	色と継続								
授業外学修内 容									時間	数		
4週目									•	•		
授業学修内容	連合国軍の占領	領 アメリカ	軍がやって	てきた敗戦、	占領期の	群馬県						
授業外学修内 容	家族の歴史を聞く							時間	数	l		
5週目												
授業学修内容	民主化への諸語	改革占領교	政策の内容	系新憲法								
授業外学修内 容	憲法の内容を知る 時間数 1											
6週目												
授業学修内容	占領政策の変	化 冷戦の	始まり									

授業外学修内 容		時間数						
7週目								
授業学修内容	受業学修内容 日本の独立回復と日米安保体制米軍基地問題							
授業外学修内 容	日本国内にある米軍基地の役割を考える	時間数	1					
8週目								
授業学修内容	日本とアジア諸国 アジアの冷戦中国 韓国							
授業外学修内 容	戦後のアジアの国々について調べる	時間数	1					
9週目								
授業学修内容 高度経済成長への道 大量消費社会へ								
授業外学修内 容	生活の変化、経済的な豊かさ	時間数	1					
10週目								
授業学修内容 高度経済成長期の日本 ベトナム戦争 アジアへ								
授業外学修内 容		時間数						
11週目								
授業学修内容	オイルショック後の日本 70年代以後							
授業外学修内 容	1970年代のエネルギー、省エネヘ	時間数	1					
12週目								
授業学修内容	昭和の終わり昭和天皇							
授業外学修内 容		時間数						
13週目								
授業学修内容	授業学修内容 経済大国の日本 90年代以後 国際貢献へ							
授業外学修内 容		時間数						
14週目								
授業学修内容	戦後の日本について考える							
授業外学修内 容	戦後70年の日本の変化 どのような変化なのか、	時間数	1					
15週目	15週目							
授業学修内容	業学修内容 まとめ 日本社会の現状は 今後の日本とアジア、世界							
授業外学修内 容	これからの日本社会とアジアの国々との関係をどうするのか?未解決の問題 は何か?	時間数	1					
上記の授業外学	上記の授業外学修時間の合計 10							
その他に必要な自習時間 80								
<u>'</u>								

Number	HIS-1-003-sn		History of Japane				
Name	大沼 久夫(Onuma Hisao)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2		
	In this lecture ,aim for understanding concretely about the history of the Japan over 70 years a fter the Second world War,with a view to international relations.						